

全国大学生協連の 平和の取り組みについて

0325

全国大学生協連 学生委員会

富山大学 齋藤 薫

つながる元気、ときめきキャンパス。



つながる元気、ときめきキャンパス。



全国大学生協連より2つの報告を行います

○全国大学生協連の平和活動について(8)

- ✓ 連合会としての昨年度の平和の取り組み
- ✓ 協同組合間でのつながり

○Peace Now! Okinawaについて(20)

- ✓ Peace Now! Okinawaの詳細
- ✓ 実行委員の企画を作るうえでの実感や学んだこと

○まとめ(2)

- ✓ 22年度、そして未来に向けて

※ニュースの細かい字はぜひ共有資料を拡大してみてくださいと幸いです
…!



全国大学生協連の平和 の取り組み

—年間を通じたPeace Now!の推進—

「大学生協のこんな過去から」

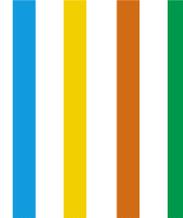
- 大学生協が戦争で解散された過去
- 文系学生を戦地に送り込んだ過去
- そのような社会で事業活動をしていた経験 から



よりよい生活と平和の実現

1953年の全学協大会で「**よりよき生活と平和のために**」のスローガンが採択。戦後から「よりよい生活を獲得する運動は平和を守る運動と不可分である」の立場から様々な平和活動を取り組んできました。

Peace Now!



- そんな過去を持つ大学生協は、**Peace Now!**という平和ゼミナールを35年以上前から続けてきました
 - [Peace Now!のHP](#)にPeace Now!のはじまりが載っています
- 長年、**現地で学ぶ**ということを大切に、開催をしてきました

まずは、*Peace Now!*を知ってほしい…

大学生協連会員生協の組合員を対象とした、**平和を考えるための「体験型プログラム」**です。世界でたった2都市の被爆地である「**広島**」「**長崎**」、日本で唯一住民を巻き込んだ地上戦が行われた「**沖縄**」の3地域で開催します。当日は被爆者や戦争体験者の証言を聞いて当時の様子を追体験したり、今も残る戦績を巡ったり、参加者同士が自分の考えを交流したりして、平和についての考えを深めます。



20年度より…



- 新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での活動ができなくなりました。

—しかし—

- **ワカモノはワカモノらしく**学び続けることを止めてはいけない！
- 新しい形も使って平和への想いを繋ぎ続けよう！

と、活動をし続けています！

Peace Now!

• Peace Now!はここ2年オンラインで行っています。



Peace Now! 2021
NEWS No. 15
2021.09.27.

【開催報告】

Peace Now! Okinawa 2021

概要

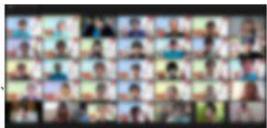
日程：2021年9月8日(水)13:00～18:30

9日(木)10:00～17:30

場所：オンライン会議システムZoom

参加者

岩手大(1)、東京都立大(1)、東京大(1)、東京外国大(1)、
東京薬科大(1)、明治薬科大(1)、金城学院大(1)、愛知大(1)、
岐阜大(2)、立命館大(1)、下関市立大(1)、山口大(1)、
福光学院大(2)、島根大(1)、愛媛大(1)、九州大(1)、
長崎大(1)、熊本大(2)、琉球大(1)、北海道BK(2)、
九州BK(1)、現地実行委員(5)、連合会・フロッグ(14)
計19会員44名(運営含む)



Peace Now! Okinawaの獲得目標

戦中、戦時中のことを知り、戦争を風化させないことの重要性を考える。

- 沖縄戦について理解する。
- 当時同年代だった人の戦争体験を中心に戦争に当事者意識を持つ。

戦後、沖縄の戦後を例として社会問題に興味を持ち、自分なりに疑問を持ち続けられる人になる。

- 沖縄の戦後76年の間に起きた出来事を知る。
- 沖縄の戦後の問題について考え、他のメンバーの考えに触れ、対話することで自分の考えを深める。
- 沖縄だけではなく、社会的に今ある問題を出してみ、繋げて考える。
- どういった風に関わりが発生したが、どうしたら解決できるか考える。

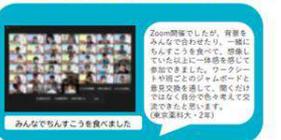
行動、誰かと協力して身の回りの出来事に対して考え、平和な社会に向けて行動できるようになる。

- これまでの学んだことを踏まえてどのような行動ができるか考えられる
- 誰かと協力することの大切さを実感する。

**00 ここは沖縄！
ここでのお出合いを大切に**

オンラインでもつながりを作る！

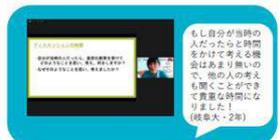
Peace Now! Okinawa史上初めてのオンライン開催。参加者も大変みなさんからの参加でしたが、沖縄にいる実行委員から沖縄の風景を中継してもらい、沖縄のお菓子をみんなで食べる時間を設ける。みんなで同じバーチャル風景を使うことで、まるで沖縄にみんながいて同じ時間を共有しているかのようなセミナーになりました！



01 まずは沖縄戦について理解をしっかりと

戦中 企画① 沖縄戦について理解を深めよう

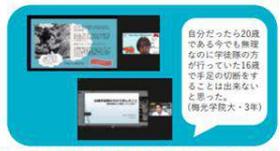
専攻学部と前半の学習会パートで沖縄戦の事案について入念に学びました。その後には皇族教育と沖縄戦後のスビー視について学び、自分がかもしその立場ならどう考え、何をやるかというのを班のメンバーとディスカッションしました。沖縄戦の歴史を学びつつ、当時の地上に巻き込まれた人たちの心境を考えることができると感じました。



02 自分と年代別の人の76年前の経験を知る

戦中 企画② 戦争体験に触れる

沖縄戦で激戦だった前田高地についてのガイド動画や戦争体験者の言葉や音声を聞き、自分たちと同年代の人やもっと若い人が76年前に沖縄戦の中で経験したことについて知り、いかに恐怖だったか学びました。また、戦争体験者の伝言活動を行っている琉球大学教職の上田先生から学生隊のことを聞いたり、伝承活動をされている平和学習の在り方について考えたりし、活発に議論が行われました。



03 PNI沖縄名物ガイド動画で追体験

ガイドをすることは今年も大忙し

PNI沖縄では例年、現地のその場で発着者を案内しながらガイドという形で沖縄戦やその後の社会問題について伝えることを大切にしてきました。今年は参加者が現地に来ることは出来ませんが、ガイド動画やそのほかの資料を準備し、みなで視聴しました。風や飛行機の音がリアルで、沖縄を感じたり、その場所での出来事について学ぶことができました。



+A テーマセッションも盛り上がりました！

全国の仲間と、びーずテーマセッション

1日目の夜には時間外企画としてテーマセッションを行いました。テーマは事前に募集をし「今の大学に初めて入った時」「オンライン旅行」「びーず初年度でさん大へ入学した時」など、各地の様々な大学から集まっているからこそ盛り上がり、学び合いがありました。参加自由の時間外企画にもかかわらず参加者の半分以上の参加があり、全国のつながりを感じることができました。



04 沖縄の76年間を知り、自分ならどう考える

戦後 企画③ 沖縄の戦後を知って考えよう

沖縄の76年から今現在まで続いている。基地問題を中心とした社会問題について、基地の建設過程や米軍統治時代について学び、自分のイメージと異なっていたことを考え、そこから理解を深めました。ワークでは、自分自身がどのような未来を望んだらいいか考える、それを班のメンバーで展開や共感意見を交えながら対話をする中で、自分自身の考えをいっしょに考え、より深く整理しました。



05 身近な社会問題のWHYを考える

戦後 企画④ 社会つなげ時間

ここまで学んできた沖縄の問題について5WHYの視点で整理をした後に、班で1つの社会問題を選んで5WHY+自分はどういう向き合い方を考えるかを議論する中で、問題が起こった背景やその社会構造について考えました。沖縄の問題は沖縄について考えるときだけでなく様々な社会問題を考えるフォーマットになるということワークを通して理解することができました。



06 あなたは「誰と」行動をしますか？

行動 企画⑤ 仲間つなぐ、あなたとつなぐ、対話でつなぐ時間

沖縄戦やその後の社会問題について考え、それをどのように広げていこうかを考えました。そこで大切にしたいのは、「誰か」と、「誰かに向けて」行動をすることであり、もう一つここで平和な社会をより多くの人に届けたいという思いが強い仲間たちとつながりたいという思いがありました。最後は全員で行動宣言をし、次でどのようなアクションをしますか？



07 ひたすら話す、話し切る！！

ランダム感想交流

前日と翌日の感想交流も大変もGLも完全ランダムで、4人1組で、感想交流を行います。グループ内で話し切れなかったことを翌の日の最後に少人数で話し合うことで、自分の感じたことと考えることを表出し、話し切ることができました。オンラインではあまりでしたが、感想交流が1つでいい心算で話すことができたセミナーになりました！！



+A 私がつなぐ、あなたとつなぐ、対話でつなぐ未来へのバトン

実行委員長：りんりんからメッセージ

参加者の皆様の積極的な参加もあり、オンラインという形でオンラインの盛り上がりを感じました。話し合う、繋ぐ、対話を通して自分自身でつながりを感じ、本当に深く考えていけたと思います。参加者の皆様を中心とした平和な未来を築いていく活動の広がり期待しています！

企画局長：ちひろからメッセージ

Peace Now! Okinawaに参加してくださった皆さん、ありがとうございました。参加者の皆さんの多様な意見や、平和に対する考え方に触れることができ、対話の大切さを実感できる時間になりました。これから、この2日間の、日々で何か選択や行動をする時に、「この選択の方向が平和な社会に繋がっているか？」と考えるきっかけになるようにします。

UNIV. CO-OP 発行元：全国大学生生活協同組合連合会 | 執筆者：林徳樹 (全国学生会委員会)
お問い合わせ：Peace Now! セミナー事務局 (nluca-peacenow@univ.coop)

長崎



Peace Now! 2021
NEWS No. 14 2021.9.27.

【開催報告】

Peace Now! Nagasaki 2021

概要

日程：2021年9月2日(木)10:00~18:00
3日(金)13:00~17:30
場所：オンライン会議システムZoom

参加者

岩手大(1)、東大(1)、聖知大(2)、金城学院大(1)、立命館(1)、
鳥松大(1)、愛媛大(1)、下関市立大(1)、九州大(1)、西南学院大(1)、
長崎大(1)、北新大(1)、北新大BK(1)、九州BK(3)、
現地実行委員(8)、連合会・ブロック(10) 計13会員34名(遠隔含む)



【獲得目標】

1. ナガサキをいろいろな視点から見ることで76年前を身近に感じられるようになる
2. 過去と今の繋がりを知り、いろいろな考え方に触れることで自分の世界の広がりを感じる
3. 「私にとっての平和」を言語化して、自分たちが作っていく社会の中で主体的に何ができるか考える

01 長崎に来たつもりで！「長崎」&「ナガサキ」を学ぶ

企画①「長崎ってこんなところ！」

みなさんは長崎にどんなイメージを持っていますか？
Peace Now! Nagasakiの取り組みを知ることで、
クイズを交えながら楽しく学びました。「長崎」と「ナガサキ」の違い、長崎と関する基礎知識、広島との違い、
世界の救をめぐる状況などを理解することができました。
短時間で、正確な知識を身に付けることができました。



02 被害者の声を聴き 被害の実相を知る

企画②「被爆体験講話」

11歳の時に被爆された山崎健三さんをお招きして講話をしていただきました。私たちは被爆者から被害の実相を知ることができ、「最後の世代」としてと同時、**最後の責任を後世に伝えていく役割を担う**「最初の世代」だといえます。山崎さんのお話から自分たちには何ができるのか、
参加者一人ひとりが考えました。



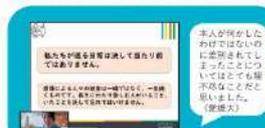
03 見て、聞いて、話して ナガサキを感じる

企画③「オンラインでフィールドワーク！」
実行委員が総編集した動画に実行委員のガイド、紙地図なども使いながらより深くナガサキを知りました。美しい街になった今も、私たちの足下にはまだまだたくさんの生きたり
なかつた人たちが残っていることを忘れてはいけません。
現地の風景とイベントを同時に楽しむことで当時の人々の生活や平和への願いに思いを馳せることができました。



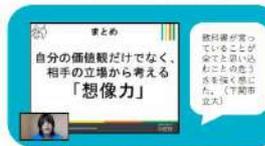
04 人々の暮らしから 原爆の被害を考える

企画④「戦争による被害を考える」
原爆の被害は焼死、爆死、放射能による怪我や病気だけでなく、
長期的な健康被害、精神的苦痛、経済的被害など、多岐にわたる被害
がありました。私たちの生活と比較したとき、多岐にわたる被害
が、私たちの生活と比べてどれほど深刻な被害であったかを改めて
考えることができました。



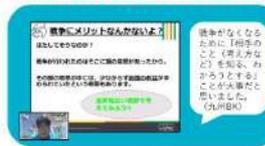
05 日本の戦争の加害面を知る前と知った後

企画⑤「日本の加害と私たちの「当たり前」」
戦争において日本は被害者の立場だけだったのでしょうか？
長崎市には日本の加害面にも目を向けた資料館があります。
資料館の資料を見ながら日本が外国に対して行った加害
について学びました。戦争被害の被害者があるように、
見方を変えれば私たちの当たり前も覆ります。自分の価値
観だけで判断せず多角的な見方と想像力が大切です。



06 戦争って本当に ダメなんでしょうか？

企画⑥「改めて考えてみよう」
何となく当然としていた戦争にはいけない理由を自分の
言葉で考えました。戦争をメリットとデメリットの両
面から考えることで、今まで気がなかった点から戦争
の姿を見つめ、戦争について自分の意見を深掘りしました。
今の世帯は多岐にわたる問題を抱えていると気づきました。私
たちも平和のために戦争を自分ごととして考え行動したいです。



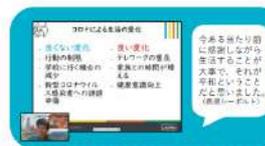
07 私たちは選挙という形で 平和に対して行動できる

企画⑦「憲法9条から平和について考える」
これまで学び考えたことを整理し、憲法9条を切り口に平
和について考えました。本学で取り組んでいる青年期現在の
社会情勢などを絡めてそれぞれの視点から自分の考えを話し
、他の人の意見を聞くことで意見を深掘りできました。自
分の関心や価値観に対して当事者意識を持ち、多岐にわたる
意見を交換・議論することの大切さを感じました。



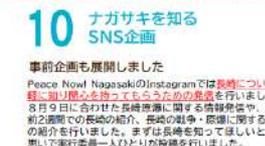
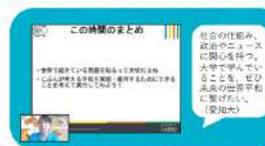
08 私にとっての平和を 言語化しよう

企画⑧「平和とは何かを考える」
今和平だと思いませんか？**戦争が思い浮かぶだけで平和は遠い**と思えます。コロナ禍の今、各自の生活実態や社会情
勢から平和だと感じるかについて意見を交わしました。人々
それぞれの考え方があります。「平和」を自分にとって捉え表
述する。各自が言語化しました。Peace Now! Nagasakiの
3日間の学びを通して考えが深まりました。



09 自分でできることを ひとつでも見つけよう

企画⑨「これから見つける時間」
SDGsを切り口に世界の課題に目を向け、身近に起きたら
どうなるか自分ごととして考えました。そして自分にと
つての平和を実現、維持するために、いち個人の行動や周囲
の人と協力してできることを考えました。私たちが平和な
社会をつくる一員として主体的に考え行動していくことが
大切です。



+A 私がつなぐ、あなたとつなぐ、 対話でつなぐ未来へのバトン

企画局長：ゆっきーからメッセージ

今まではNagasakiにおいて初めてのオンライン開催でした。
様々な不安があった中でみなさんが平和や社会についてたく
さん考えてくれたことを嬉しく思っています。現地イベント
がない代わりに動画や音声配信などの工夫がオンラインだ
からこそできた企画もあり、オンラインでもちゃんと私たち
の思いを伝えられたPeace Now! Nagasakiになりました。
私にとってPeace Now!とはただ戦争や社会について知るだ
けなく、**全国の大学生と平和や社会について語り合うこと**
で自分の世界の広がりを感ずられることです。参加者のみな
さんにもそれを感じてもらえていたら嬉しいです。
私は平和や社会について考える時間がこの3日間が終わら
せてほしいくらい強く願ってこま作業してきました。どんなに
小さな変化でもいい、参加したみなさんのこれからに少し
も意識の変化があれば嬉しいです。
そして**参加者全員について考えたり行
動したりする**こと、**大学生や社会人にとって
特別なことではなく日常になりますよ**に。



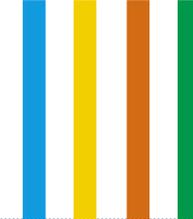

実行委員長：べっぴーからメッセージ
このPeace Now!では過去を知り未来を捉えたい今を考え
てきました。「最後を最後の形勢に」各個人の今の祈り
を思いや平和な社会をつくるために私たちが自身です。
みなさんはこの3日間で長崎から何を学び感じましたか
が平和な未来へのバトンに自分ならではの祈りを書き
込んだ。「自分にとっての平和」をこれから持ち続け
、あなた自身の行動と対話を通して
バトンをつないでいきましょう。


UNIV. CO-OP 発行元：全国大学生生活協同組合連合会 | 執筆者：藤井祥子（全国学生委員会）
お問い合わせ：Peace Now! セミナー事務局 (nfuca-PeaceNow@univ.coop)



つながる元気、ときめきキャンパス。

そして2021年度は



- 当日のみだけでなく年間を通してPeace Now!を推進し続けよう、組合員が平和に触れて学ぶ機会を作り続けよう。

→ 「Peace Now! プロジェクト」の実施

Peace Now! プロジェクト



- 4本の柱で行いました

#未来へのバトン
企画

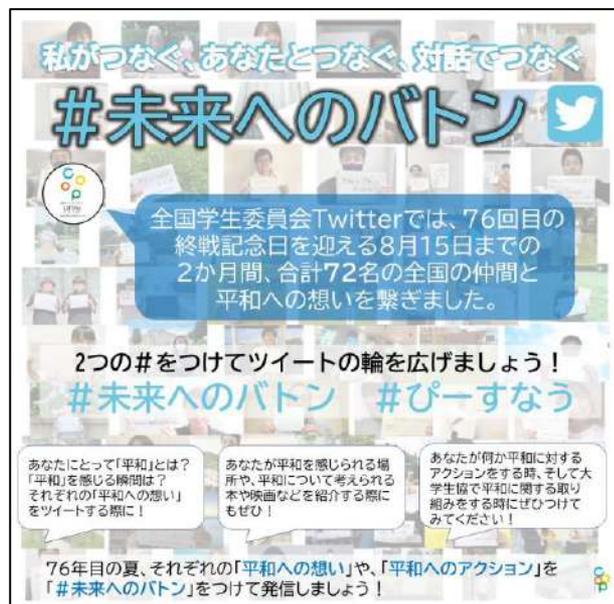
実行委員メンバー
での学習会

事前事後の
取り組み

HPやSNSでの
発信

#未来へのバトン企画

- Twitterで#未来へのバトンというハッシュタグを活用して、みんなの平和への想いを発信した。
- 2か月間、学生を中心にリレーのバトンを繋ぎました！
(日本生協連の福島さんも特別出演してくれました！)



私がつなく、あなたとつなく、対話でつなく

#未来へのバトン

全国学生委員会Twitterでは、76回目の終戦記念日を迎える8月15日までの2か月間、合計72名の全国の仲間と平和への想いを繋ぎました。

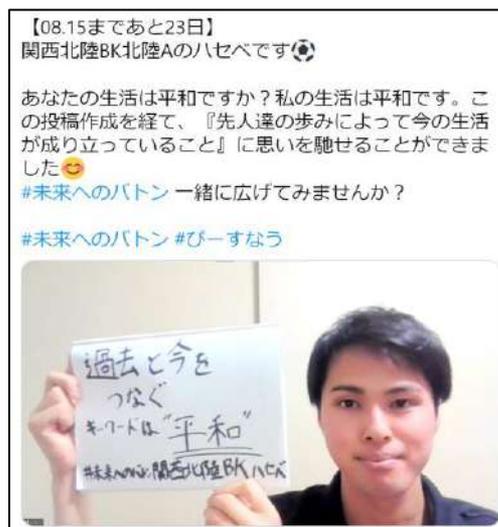
2つの#をつけてツイートの輪を広げましょう！
#未来へのバトン #ぴーすなう

あなたにとって「平和」とは？
「平和」を感じる瞬間は？
それぞれの「平和への想い」をツイートする際に！

あなたが平和を感じられる場所や、平和について考えられる本や映画などを紹介する際にもぜひ！

あなたが何か平和に対するアクションをする時、そして大学生協で平和に関する取り組みをする時にぜひつけてみてください！

76年目の夏、それぞれの「平和への想い」や、「平和へのアクション」を「#未来へのバトン」をつけて発信しましょう！



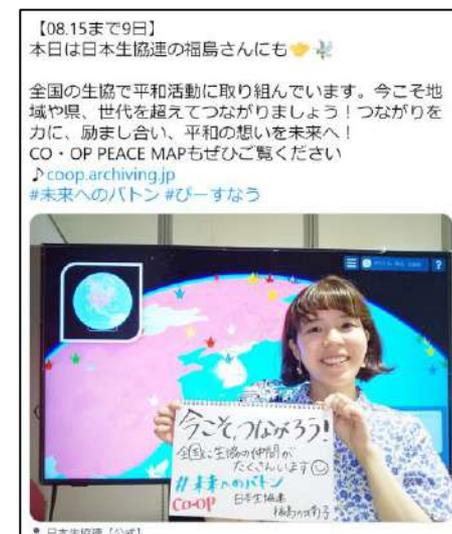
【08.15まであと23日】
関西北陸BK北陸Aのハセベです🌐

あなたの生活は平和ですか？私の生活は平和です。この投稿作成を経て、『先人達の歩みによって今の生活が成り立っていること』に思いを馳せることができました😊

#未来へのバトン 一緒に広げてみませんか？

#未来へのバトン #ぴーすなう

過去と今をつなぐ
キーワード「平和」
#未来へのバトン 関西北陸BK北陸A



【08.15まで9日】
本日は日本生協連の福島さんにも👏🌱

全国の生協で平和活動に取り組んでいます。今こそ地域や県、世代を超えてつながりましょう！つながりを力に、励まし合い、平和の想いを未来へ！
CO・OP PEACE MAPもぜひご覧ください
♪coop.archiving.jp
#未来へのバトン #ぴーすなう

今をつなぼう！
全国に生協の仲間が
たくさんいます👏
#未来へのバトン
CO・OP 日本生協連
福島市生協

日本生協連 (公社)

<https://twitter.com/i/events/1426854088877035521?s=20>

実行委員メンバー での学習会

- Peace Now!の実行委員や全国で生協学生委員会として活動している人とオンラインで繋がり、それぞれの地域の歴史について学び、式典をみたりワークをしたりした。



ぴーなうーず 話して
うずみ
ミーティングin沖縄
2021.6.25(Fri)

【場所】 zoom 【時間】 18:00▶20:30 【参加費】 無料

参加対象
ぴーなうーに関わる全ての人
○各地で企画作りを行っている実行委員
○各地で平和を推進する社会的課題委員
○その他参加を希望する人

開催目的
○ぴーなうーに関わるメンバーが自ら学び
平和に対する考え方を深めるため
○平和を考える仲間が全国にたくさんいる
ということを知るため
○ぴーなうーの輪、未来へのバトンを対話
をすることで広めていくため

当日内容(予定)
■アイスブレイク
■沖縄について学ぼう！
■実際の式典を見る、考える
■自分の地域の76年前を想像してみよう
ワーク などなど…

申し込みはこちらから▼
<https://forms.office.com/r/LRuPcZv5JE>
積極的なご参加お待ちしております！

みんなで沖縄について知り、
平和について考え、話し合しましょう！

お問合せ

全国大学生協連学生委員会/平和担当
Hayashi.Yuki@univ.coop (林優樹)




Peace Now! 2021
NEWS 番外編 2021.07.02

ぴーなうーず ミーティングin沖縄
沖縄について学び、平和を考える会を開催しました

要項
名称：ぴーなうーずミーティングin沖縄
日程：2021年6月25日(金)18:00-
場所：オンライン会議システムZoom

参加者
PN | Hreshna実行委員4名、
PN | Kagasaki実行委員3名、
PN | Okinawa実行委員3名、
社会的課題委員1名、
委員会1名 …計12名

自己紹介
○お名前を学ぼう！
○報告会 協賛式をみんなで見る
○感想交流
○76年前を想像してみようワーク

01 まずは自分たちが学んでみよう！
沖縄について学び、自分の考えを深める
ぴーなうーずミーティングは、Peace Now!に関わっているすべての人(実行委員、社会的課題委員など)を対象とした、まずは自分たちが3地域のこじについて学び、自分の平和に対する考えを深め、Peace Now!の作り手や活動家のみなさんと知りあうこととした学びの機会に繋がった。今回は、7月23日に想いを込めた、式典について学んでみよう！

02 慰霊の日、そして沖縄戦について考える
企画局員に教えてもらった式典を見たり…
コンテンツとしては、慰霊の日を改めて沖縄戦について学ばれた。その日の朝の空は曇り、沖縄戦の歴史を学ぶ。沖縄戦についての知識を深めたのちに23日の沖縄戦を教員が司会を務めました。特に「平和の日」に込められた思いやメッセージが心に打たれ、戦争と、歴史を学ぶことで平和を考えたこと、大事にしたいことについて交流が湧いていきました！

03 76年前を一緒にじぶんごとに
自分の地域の76年前に想像力を！
ミーティングの最後には自分たちが住んでいる地域の76年前を調べてみて、その時の様子を知ることができた。自分たちの入居を想像して、自分たちが住んでいるところをワークしてみました。Peace Now!の3地域以外の地域でも76年前の歴史の跡があり、各地でつながっている。この機会に76年前の自分たちの、この地域を思い描きたいという思いで作られたことを実感しました。

【(参考)このミーティングで実施した動画】
01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12

UNIV. CO-OP 発行元：全国大学生協連国協連会 | 執筆者：林優樹 | 全国学生委員会 | お問い合わせ：Peace Now! セミナー事務局 (ofuna-peacenow@univ.coop)

事前事後の 取り組み

事前学習会

- Peace Now!に参加を予定している人を集めて、**事前に平和について学び、考えるきっかけを作る。**

事後交流会

- 参加した人を1か月後に集めて、1か月での**行動を共有**したり、もう一回学ぼう！考えよう！と**励まし合う。**



Peace Now! 2021

NEWS 番外編

2021.08.22

Peace Now! 3 地域事前交流会

Peace Now!について学び、交流する会を開催しました



概要

名称: Peace Now! 3地域事前交流会
日程: 2021年8月10日(火)
18:00~20:00
場所: オンライン会議システムZoom

参加者

インカレ愛知(1)、岐阜大(1)、
金城学院大(1)、岡山大(1)、
愛媛大(2)、九州大(1)、福
景大(1)、琉球大(4)、連合
会・BK(10) ...計22名

コンテンツ

〇アイスブレイキング
〇Peace Now!について知る
〇過去に学び、今を考える
〇#未来へのバトン

01 そもそもPeaceNow!って どんな取り組み?

Peace Now!の歴史と今年度の取り組みを紹介

Peace Now!とは、1982年より冊子の取り組みから始まり、現在まで平和への想いが受け継がれてきた取り組みです。近年では、被災地の「広島」「長崎」、国内で市民を巻き込んだ地上戦が行われた「沖縄」の地で体験型学習プログラムとして、当時の様子を追体験したり、参加者同士が自分の考えを交流したりして、平和について考えを深める取り組みとなっています!



Peace Now!3
地域それぞれ今年
度の企画も長より、
企画内容だけでなく
熱い思いが語られ
ました!
当日がとても楽し
みになりましたね!

02 まずは身近なところ から平和を考える

身近な地域の76年前と今を比べて平和を考える

76年前に戦争で被害を受けたのは、広島・長崎・沖縄だけでなく、皆さんの住んでいる地域や通っている大学のある地域など身近なところにもありました。そのため、これまであまり目を向ける機会がなかった身近な地域で起きたことやその当時の人々の暮らしについて、ネットなどのツールを使って調べ、想像してみました。調べてみるとたくさん知らないこともあることに気づかされましたね!



様々な情報をも
とに76年前を想
像し、交流する
ことで、今まで
知らなかったよ
うな身近な地域
の歴史から平和
について考えら
れました!

03 #未来へのバトン

#未来へのバトンを通してみんなで交流!

事前交流会の最後には、事前交流会を経て感じた自分の平和観を言語化し、「#未来へのバトン」企画をもとにみんなで平和観について交流してました。こうした平和について考え、交流する機会がPeace Now!セミナー当日もたくさんあるため、ぜひ皆さんで参加して平和について考え、交流してみよう!きっと新たな発見があるはずですよ!



「#未来へのバトン」
では、参加者から「安
心して生きているって
平和だね!」や「身近
な平和を作るために今
の自分が人として何が
できるのかを考えて伝
えること」など、今の
平和への想いをたくさ
ん交流できました!

Peace Now! Hiroshima/Nagasakiのお申込みは、2021年8月27日(金)23:59までです!
Peace Now! Okinawaのお申込みは、2021年8月31(火)23:59までです!
※詳しくは同送しております「NEWSNo.09」をご確認のうえお申し込みください。

つながる元気とあきらめカンファス!



発行元: 全国大学生生活協同組合連合会 | 執筆者: 児島佳幸 (全国学生委員会)
お問い合わせ: Peace Now! セミナー事務局 (nfuca-PeaceNow@univ.coop)

HPやSNSでの 発信

• HP発信のサイトの紹介

「未来と向き合い平和について考える」
大学生協の平和活動特設サイト

未来と向き合い
平和について考える



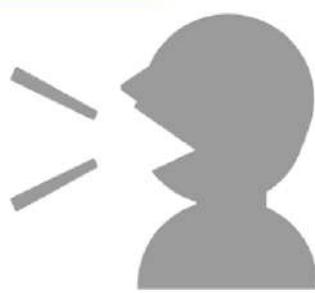
大学生協の平和活動特設サイト



平和と**未来**について



知り



知らせ



考え



話し合い



行動する

プラットフォーム
のための **新しい集い場** がオンライン上に誕生しました！

- 大学生は大学生らしく、アカデミックに、対話を大事にしなが、学びを組合員に発信しています。

おすすめ記事①

平和インタビュー

平和活動に取り組む若者や有識者(知識人)の方々に、活動内容やその原動力についてインタビューしています！

おすすめ記事②

Study 学習記事

平和を取り巻く社会情勢や平和運動を新たな形で取り組む若い世代のチャレンジを特集記事として掲載しています！



Home > Interview > ワカモノインタビュー > ワカモノインタビュー #02 広島市立基町高校普通科創造表現コースのみなさん

ワカモノインタビュー #02 広島市立基町高校普通科創造表現コースのみなさん

 <p>Interviewee インタビュー 藤田 真白梨 (広島市立基町高校普通科創造表現コース3年)</p>	 <p>Interviewee インタビュー 丸川 裕世 (広島市立基町高校普通科創造表現コース3年)</p>
 <p>Interviewee インタビュー 横山 葉央 (広島市立基町高校普通科創造表現コース3年)</p>	 <p>Interviewee インタビュー 岡田 友梨 (広島市立基町高校普通科創造表現コース2年)</p>
 <p>Interviewer インタビュー 大平 鈴音 (Peace Now! Hiroshima2020実行委員 / 鳥栖大学法文学部)</p>	 <p>Interviewer インタビュー 長尾 香帆 (中国・四国ブロック2020年層学生事務局 / 愛媛大学法文学部)</p>

Contents:

- 自己紹介
- こんな活動をしています！
- 「怖い」で終わらずに平和について考えてほしい！
- 伝えるって難しい！ 伝わるって嬉しい！
- 未来に向けて私たちにできることは？

中・高生のころの活動から～原爆の本当の恐ろしさ～



広島市と平和記念資料館主催の「中・高校生ピースクラブ」で活動していた。広島市在住の在学中の中・高校生を対象にメンバーを募集しています。

- 広島市と平和記念資料館主催の「中・高校生ピースクラブ」で活動していた。
- 広島市在住の在学中の中・高校生を対象にメンバーを募集しています。
- 今日は、取り組みの一部を紹介。

広島青少年平和の集い

- 8月5日に全国から小・中・高校生を集めて、体験活動をしたり、ワークショップをしたりする。
- 「ピースクラブ」のメンバーは運営の面でサポートをしていた。
- 1年を通して広島の際限について学び学んできたが、全国から集まった人とともに東京大空襲や沖縄戦などの話も聞くことができた。
- いろんな角度から自分たちの活動を見直せた。



- TwitterやYouTubeでも発信を行っています！



全国大学生協連学生会委員会 @uc_zengakui · 2021年8月5日

【#原爆の日 直前NEWS】
8月6日、9日は人類史上初めて原子爆弾が落とされた日です。

76年前に想いを馳せ、今ある「平和」について考える日にしましょう。1人1人が考え、誰かと話し合い、少しでも行動をしてみる。それが #未来へのバトン を繋いでいく大切な歩みになると信じています🙏
#びーすなう

Peace Now! 2021
NEWS No.05 2021.8.5.

原爆の日直前号！
広島・長崎の祈りの日。原爆投下から76年です。

ヒロシマ・ナガサキを知る機会に！ 式典は中継されます！

第二次世界大戦終戦直前の1945年8月、人類史上初めて広島と長崎に原子爆弾が投下されました。一瞬のうちに多くの命が奪われて街は焼け野原になり、生き残った人も今なお後遺症や差別などに苦しんでいます。

広島		長崎	
1945(昭和20)年8月6日 午前8時15分	投下日時	1945(昭和20)年8月9日 午前11時2分	
広島市上空約600メートル	炸裂場所	長崎市上空約500メートル	
リトルボーイ (ウラン型)	原子爆弾	ファットマン (プルトニウム型)	
年内までに推定14万人	死者数	約7万4千人(推定)	

広島市の「原爆資料館」
<http://www.museumhibakusha.or.jp/>

参考 長崎市の「原爆資料館」
<http://www.nagasakihibakusha.or.jp/>

ライブ中継を見てみよう！

【広島】平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）
2021年8月6日（金）午前8時～午前8時50分
ライブ配信：広島市ホームページより
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/atomicbomb-peace/175816.html>

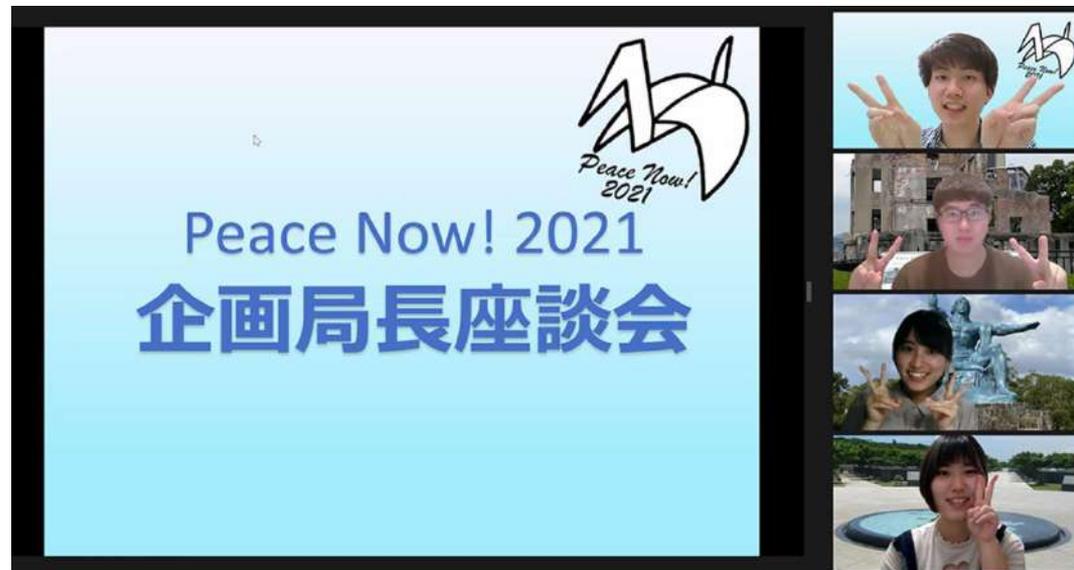
【長崎】被爆76周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典
2021年8月9日（月）午前10時45分～午前11時45分
TV放送：NHK総合 午前10時50分～午前11時50分

SNSで平和への想いをつないでいます！

全国学生会委員会Twitter (@uc_zengakui) では、平和への想いを言葉にして伝え、平和について考える輪を広げるための取り組みとして、6月15日から終戦の日の8月15日までの2か月間「#未来へのバトン」を実施しています。

みなさんも、TwitterやInstagramで2つのハッシュタグ「#未来へのバトン」、「#びーすなう」を付けて平和への想いをつなげてみてください🙏

UNIV. 発行元：全国大学生協連組合連合会 | 執筆者：藤井祥子 | 全国学生会委員会



<https://youtu.be/7bbyyQ0dhpvo>

大事にしてきたこと

- 変わらない意識してきたことは3つ

知り・知らせ・考え・話し合い・行動する

#未来へのバトン
企画

実行委員メンバー
での学習会

学生らしくアカデミックに・多角的に

事前事後の
取り組み

HPやSNSでの
発信

一緒に頑張る・考える仲間を増やす

- 特に、上の二つを大切に、**一緒に頑張る・考える仲間を増やす**という活動が我々の活動です！

一緒に頑張る・考える仲間を増やす

- 実は**地域生協の皆様との協同組合間協同**が広がった一年でした！
→私達はオンライン会議もグループリーダーも大得意です♪
- 日本生協連さんの「**オンライン子ども平和会議**」ではここ2年協力させていただいています！
- コープおきなわさん×エフコープさんの「**オンライン～子供のための平和学習～**」でも協力！
→子どもたちの考えを引き出す**グループリーダーのお兄さんお姉さんになりました！**今年もたくさん協力します！

ぜひお誘いお待ちしております！共に考えましょう！

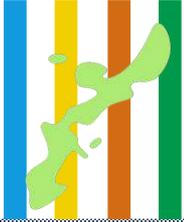
Next→Peace Now! Okinawa



【報告】 Peace Now! Okinawa 2021

琉球大学 2年 比嘉恒晴

自己紹介(つーね)



- 比嘉 恒晴 (ひが つねはる)
- 琉球大学 2年次
人文社会学部 国際法政学科 所属
専攻:法学



- 「Peace Now!」を始めたきっかけ
全国の学生と「平和」について考えてみたい！平和についてもっと学びたい！と思い、参加しました！

『Peace Now!』とは



- 35年以上前から続く平和ゼミナール
- 始めは、一つの冊子から
- 長崎、広島でも毎年実施
- 「自分事」として平和を考え行動する



現地で“見る”



体験者や現地の人の声を“聞く”



仲間たちと“話す”



現地の大学生と一緒に“作る”

概要



～対面開催の場合～

例年は

9月上旬 3泊4日 沖縄県南部

参加者：100名程度

(全国から集まります)

主催：全国大学生生活協同組合連合会

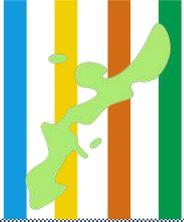
概要



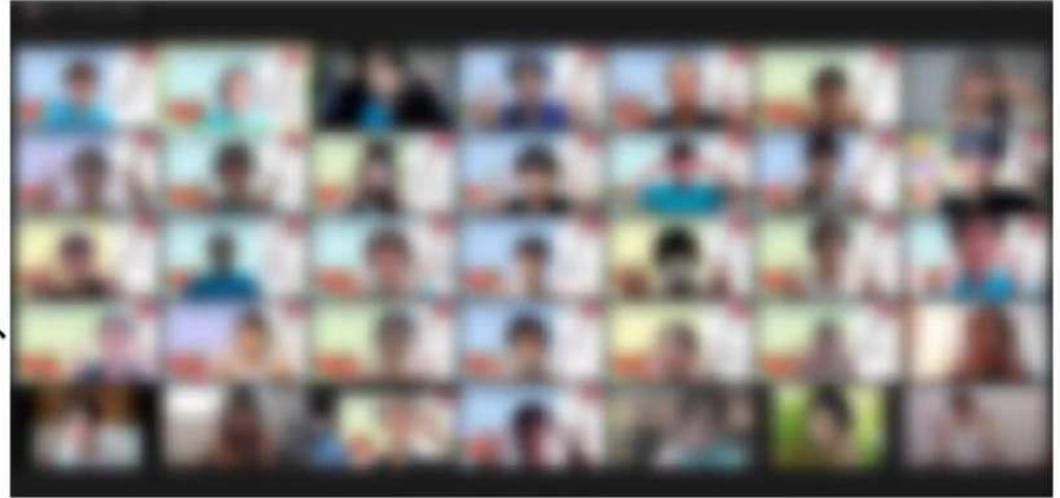
- 実行委員が戦跡を案内する
- 平和に対する意見交流を行う



初めてのオンライン開催



コロナ禍で県を
またぐ移動が
困難に…



しかし、

→実行委員会にて

「どんな形でもいいから伝えたい！」

「沖縄で平和を考えるきっかけにしてほしい」

→PN!O史上初めてのオンライン開催！

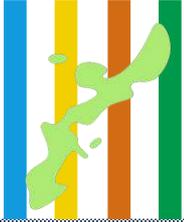
概要



■獲得目標(2021)

- ①戦中. 戦時中のことを知り、戦争を風化させないことの重要性を考える。
- ②戦後. 沖縄の戦後を例として社会問題に興味を持ち、自分なりに疑問を持ち続けられる人になる。
- ③行動. 誰かと協力して身の回りの出来事に対して考え、平和な社会に向けて行動できるようになる。

概要



～1日目 戦中の沖縄を学ぶ～

- 企画① 沖縄戦について理解を深めよう
- 企画② 戦争体験に触れる

～2日目 戦後の沖縄を学ぶ～

- 企画③ 沖縄の戦後 76 年を知り、考えよう
- 企画④ 社会問題とつなげる時間
- 企画⑤ あなたがつなぐ、みんなでつなぐ、対話でつなぐ時間

概要

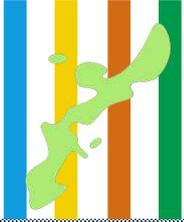


対面での実施が
できないため、
ガイド動画を
制作した

※こちらリンク集を共有して
います！参加している方のみ
の共有としてください。



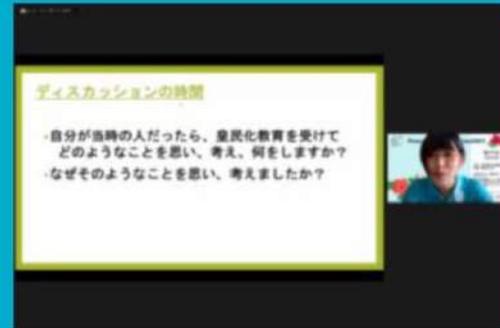
学びの流れ



1日目 ～戦中について学ぶ～

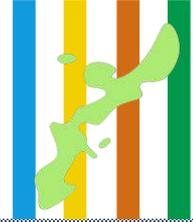
・皇民化教育、スパイ視について

→解説を聞いた上で、自分が当時の人
だったらどう思うか
どういう行動をとる
かをみんなで考えた



もし自分が当時の人だったらと時間をかけて考える機会はあまり無いので、他の人の考えも聞くことができ、貴重な時間になりました！
(岐阜大・2年)

学びの流れ



- 激戦地「前田高地」について

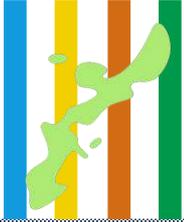
→ 解説、ガイド動画を視聴して同世代が戦争体験を学習した



- 白梅学徒隊について

→ 琉球大学の北上田先生をお招きして、白梅学徒隊について学んだ。平和教育のあり方についても参加者で検討した

学びの流れ



2日目 ～戦後について学ぶ～

- ・戦後の沖縄と米軍基地とのかかわりをガイド動画で紹介した

→ガイド動画等を通して考えた自分が考え「平和」な理想の社会とは何かを発表し合った



学びの流れ

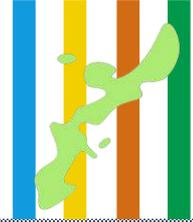


- 身近な社会問題について考えた
→ 2日間の学びを踏まえて、「5W1H」

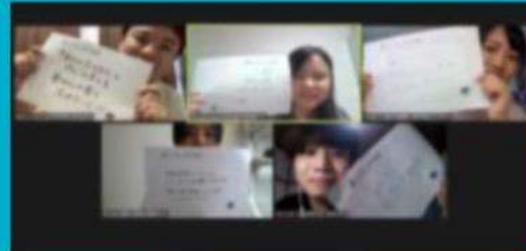
という視点から社会問題の構造を考えた

沖縄は日本の本土からしたら異国のような存在だったために文化を壊されたと思うと、自分と違うからと認めないことは今の社会でも似たところがあるのではないかと思うようになった。
(明治薬科大・1年)

学びの流れ



- 「誰と」行動するかを発表した
→ 2日間の学びを、今後どのように活かしていくのか、
「誰と」行動していくのか
を参加者同士で発表した



大切なのは「なぜ」で、背景を知れば知るほど「なぜ」がたくさん出てくるので、多面的に見ること、よく知ること、が大切だと感じました。
(北海道BK・職員)

私が担当した企画



～企画～

「沖縄の戦後 76 年を知り、考えよう」

～企画概要～

沖縄の戦後の問題について考え、他のメンバーの考えに触れ、対話をすることで自分の考えを深める。

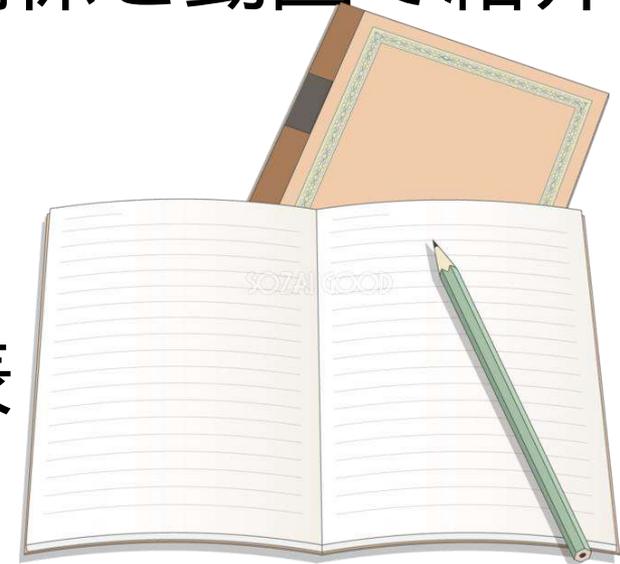
以上を目標に企画をつくりました！

私が担当した企画

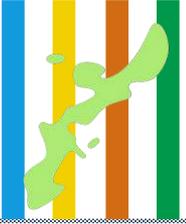


～具体的な内容～

- ・戦後の沖縄と米軍基地との関係を動画で紹介
- ・動画を視聴した意見交流
- ・自分が描く理想の社会を発表



工夫したこと

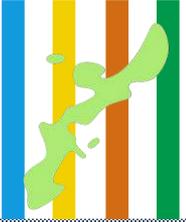


①全体像が分かる工夫



特定の場所で継続して話すのではなく、移動したり、スポットを変えたりして解説を行った

工夫したこと



②規模が分かる工夫



人々が身を潜めていた「トーチカ」がどれくらい規模なのか、実際に入ってみて規模が伝わるようにした

工夫したこと



③音が伝わる工夫



実際に米軍基地の近くの公園で撮影し、現地にいる感覚が持てるよう、軍用機の音が伝わるようにした

工夫したこと

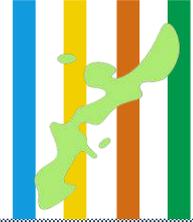


④多角的な視点を採り入れる工夫



米軍基地があることで、異文化が交わってきた沖縄文化の特徴を伝えた

工夫したこと



⑤戦後の沖縄と県外が歩んだ道の違いの解説



本土にある米軍基地との大きな違いは、
沖縄の米軍基地は「私有地」が多いこと！

←私有地は所有者が土地の売買を自由に行えることから、沖縄では新聞やラジオの広告で「軍用地売買」という言葉を見聞きすることが多い。

軍用地
売買専門

条約の締結で本土と沖縄は何が変わった？

・沖縄の道路で車の走行車線は、アメリカの交通ルールに基づき、右側走行だった！！



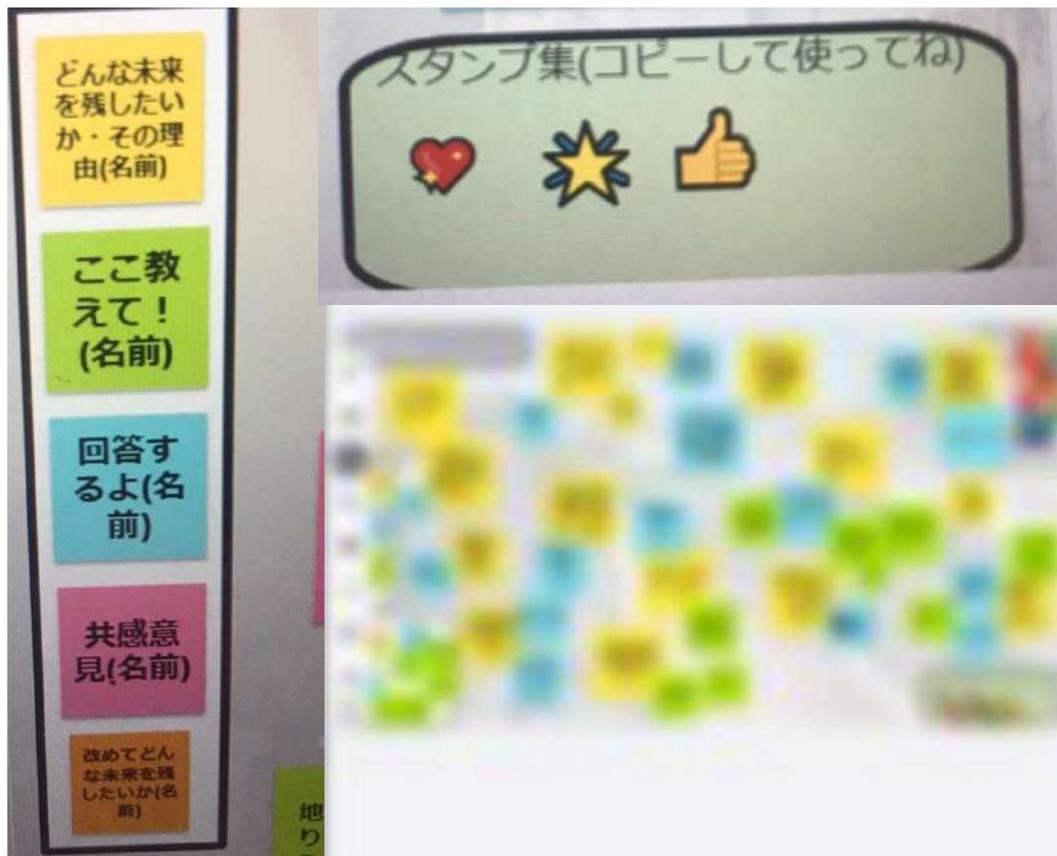
学習会を通して、沖縄の米軍基地の形成過程、米軍統治時代の沖縄県民の暮らしなど、沖縄が歩んだ歴史について生活者目線で伝えた

工夫したこと



⑥アウトプットを大切にした

「Google jamboard」を活用して意見交流を行った。



参加者の声



動画を通じて、実際の沖縄の雰囲気を感じることができたから！動画中にヘリコプターが飛んでいたのが、すごく印象的でした！
(島根大・2年)

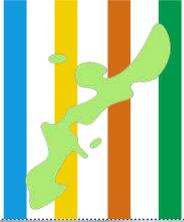
まとめ



2021年度は！

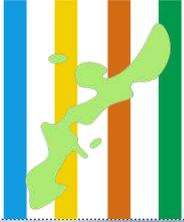
- 多様な視点からの企画づくり
- 動画撮影を通して同じ時間を共有する工夫
- 「沖縄」という地から「平和」を考える意義
- 様々な社会問題に当事者意識を持てるようにする
を意識して企画をつくりました！

課題点



- 引き継ぎの難しさ
- コロナ禍で「平和」を学ぶ難しさ
- 日常的に「平和」について議論することの難しさ
- 歴史を学ぶ機会、時間の確保の難しさ

今年の企画への意気込み



- 今年、沖縄は日本に復帰して50周年
- 未来志向の企画づくり
- 戦争の記憶の継承、復帰後50年の歩みの振り返り
- 継続的に「平和」を考えるようにする



ご清聴ありがとうございました



まとめ 2022年度への展望について

齋藤

大学生協の姿勢は…オンラインでも変わらない



知り



知らせ



考え



話し合い



行動する

対話をしてできることを
考えよう。

仲間に伝え、考え、話し合おう。

まずは知ることからスタートしよう！

【追加】全国大学生協連も声明を出しました。

- 戦争や核兵器については様々な意見があります。
- それでもより良き生活と平和を目指してきた我々にとって、戦争はだめ、核兵器はだめというところは共通の願いです。
- ぜひ[大学生協連のHP](#)をお読み取りください

2022年03月01日(火) | ニュース

ロシアによるウクライナ侵攻について

いいね! 73 ツイート

全国大学生生活協同組合連合会はロシアによるウクライナ侵攻に対して、平和的に解決することを強く望みます。いかなる理由があっても、武力の行使で無関係な両国民までも巻き込み、新たな犠牲を生み出していることは看過できません。

第二次大戦における日本の軍国主義化の中で解散を余儀なくされた日本の大学生協は、過去の反省から「よりよき生活と平和のために」のスローガンを掲げて組合員の大学生活を支えてきました。また35年以上続けてきた平和ゼミナール「Peace Now!」では「過去を省み、自分達の社会の未来を見据えて、今を考え行動できる組合員を増やす」ことを目指して、広島・長崎・沖縄を訪れ、戦争や核兵器の問題について考え続けてまいりました。このような背景を持つ当連合会にとって、対話ではなく、武力・軍事力の行使によって問題解決を図っていること、ましてやプーチン大統領が「ロシアは世界で最も強力な核保有国の一つだ」と核兵器使用も辞さない構えを示したことは到底許されるものではありません。ロシアに対して強く抗議いたします。

全国大学生生活協同組合連合会は、持続可能な社会の実現を目指し、つながりあい、語りあうことで、民主的な意思決定を重んじる組合員組織として、今一度組合員とともに知り、知らせ、考え、話し合い、行動していくことを宣言します。

2022年3月1日
全国大学生生活協同組合連合会
会長理事 生源寺真一

大学生協の平和活動を皆様と

地域の中で平和の実現を目指すステークホルダーの一つとして！

若い世代とつながる
大学生協の“強み”

地域購買生協の
皆さんと一緒に！

地域の様々な平和団体
と一緒にできること

大学の中の協同組合として大学の構成員とともに！

大学の教員・職員とともに
アカデミックに平和を考える

様々なアプローチで平和の
実現を目指す学生とともに

大学生協の平和運動



知り



知らせ



考え



話し合い



行動する

Peace Now! プロジェクト

大学生協の平和活動を今こそ



- 大学生協の平和活動の基本軸は変わらない!

知り・知らせ・考え・話し合い・行動する

- 様々な形で、平和活動の「広がり」を作っていく!

学生らしくアカデミックに・多角的に

➡大学の教員とのつながりや大学生同士とのつながり強化

一緒に頑張る・考える仲間を増やす

➡平和活動に取り組む若者同士のネットワークを強化

➡地域生協の皆様とも一緒に平和活動を広げましょう!

全国大学生協連の 平和の取り組みについて

0325

全国大学生協連 学生委員会

富山大学 齋藤 薫

つながる元気、ときめきキャンパス。



つながる元気、ときめきキャンパス。

